

# 広島市植物公園 見どころ案内

**シュウカイドウ** (シュウカイドウ科)  
中国原産で古くから日本で野生化しているペゴニアの仲間の多年草です。ピンクの風流な花を咲かせています。むかごで増える性質があります。

**アデニウム**  
(キョウチクトウ科)  
「砂漠のバラ」という名前で親しまれています。赤花と白花の両方が楽しめます。

**薬用植物展**  
薬になる植物を展示し、その効能を紹介しています。ウコンの白い花が見頃です。展示温室にて9月28日(木)まで

**大温室改修のため休館中**

**コキア**  
(ヒユ科)  
南ヨーロッパ原産の一年草で、現在は緑色のボールのようですが、秋が深まるにつれて赤く紅葉します。和名のホウキグサは、昔この茎を乾燥させてほうきを作ったことにちなみます。

**センニンソウ**  
(キンポウゲ科)  
つる性で秋の初めに小さな白い花がたくさん咲きます。園芸植物で人気のクレマチスの仲間です。

**カリガネソウ** (シソ科)  
東アジア原産の多年草。虫が花にとまる際、背中に花粉をつけ、次の花へ受粉するおもしろい仕組みになっています。紫色の清楚な花で、帆掛船に見立てて、別名は帆掛け草(ほかけそう)。

**ポポー(実)**  
(バンレイシ科)  
北アメリカ原産の果樹。大きな実がたくさんついています。熟すと自然に落ちて、甘く強い香りを放ち食べられます。

**秋の七草**  
ハギ、フジバカマ、ススキなどの‘秋の七草’のほか、ハナセンナ(アンデスの乙女)などマメ科の植物を見られる植栽にリニューアルしております。

**ノアサガオのカーテン**  
(ヒルガオ科)  
品種はオーシャンブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで到達して、高さ10mの巨大カーテンとなっています。

**ボタニカルアート作品展**  
NHK文化センター広島ボタニカルアート教室によるボタニカルアートの作品展です。植物の細密な描写をご覧ください。展示資料館1階展示室にて9月14日(木)まで

